

2月

行事予定



今夕のご縁日

せつぶんえ

節分会

一年の厄を払うため、2月3日午前11時より
節分会法要を執行いたします。

・節分札 500円

・福豆 一合升 500円 一升升 3000円

(本堂にて頒布。売れ切れ次第終了)

寺務所にて受付中

2/3

金曜日

11:00~

※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。
(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

よくゆこう

浴油講

毎年2月20日には1年間祈禱にて
用いる胡麻油をご供養いたします。
皆様から方からご志納いただき、上
質な胡麻油を尊天様に捧げます。一斗缶の奉納も承っております。
金 15000円也

寺務所にて受付中

講金
1500円也

2/20

月曜日

11:00~



待乳山聖天

いちよう

2023年02月号

令和5年1月20日発行/No.362

発行所：待乳山 本龍院

〒111-0032 東京都台東区浅草7-4-1

☎ 03-3874-2030

「聖天様のご縁日」

当山では毎月20日のご縁日
です。これは当山の開山が9
月20日ですので、その日をご
縁日にしたと思われます。聖
天様自身のご縁日としては、
16日に行うお寺が多いよう
です。古くからの信者さんがおっ
しゃるには、他にも卯の日と
酉の日のご縁日で、以前は毎
月一日とこれらのご縁日にお
参りされるという方が多
かったようです。天保9年に発行された江戸
の年中行事を集めた『東都歳時記』という本があります。この本は当時の江戸の行事を日付
け順に解説した、いわばイベント情報誌の元祖です。この本でも「卯の日」の説明に「毎月
聖天宮参 待乳山 縁日は20日卯酉なり」とあります。続けて「日参百度参り等ありて詣人絶
えず。参詣の者大根を供す」と江戸時代の当山の賑わいが伺え、また現在の参拝風景とあま
り変わらなかったようです。同様に「酉」「16日」「20日」の説明にも「聖天宮参」とあります。特に20日は「待乳山は正五九
月の20日、祭日にて分けて詣人多し」とあります。特に「9月20日」には「待乳山聖天宮祭礼」とあり、聖天町、聖天横町や瓦町といった近隣で
お神輿が出て「参詣群集して賑えり(安永3午年本祭あり)」と盛大に開山を祝った様子が
書かれています。面白いことに駒込の南蔵院や平井の聖天様でも16日だけでなく20日もご縁日だったと有
ります。また毎月20日は谷中の吉祥院や長久寺なども縁日とあり、三田の多門寺では聖天
祭として法要が行われていたとあります。(江戸時代の話ですので、現在は変更していると思
います)さらに9月20日は浅草荒沢堂でも聖天宮祭がおこなわれ、「そのほか所々聖天宮祭礼あり」
と記載されていますので、当山以外でも20日をご縁日とする寺院が多かったようです。
ところで今年は卯年です。また2月20日からは旧暦の2月に当たり月の干支だと卯月です
(紛らわしいですが4月の卯月はまた別物です)。浴油講の2月20日は卯月の朔日で酉の日
に当たります。この日は聖天様の最高のご縁日でしょう。他にも2月26日と3月10日は卯の
日ですので、「卯年卯月卯日」です。こちらも聖天参りにとても縁起の良い日でしょう。

本龍院執事

深谷昌広

月間行事

朝まいり会

2月1日~7日
午前8時~8時半 会費:500円也毎日お出でになれなくても1週間のうちで、ご都合の
よい日にご参加ください。※1/14に中止しておりました正五九百味法要を
2/7に執行いたします。事前予約が
不要になり
ました。

合同大般若法要

2月25日(土)
午前11時 法要料:5000円也皆様とご一緒にお上げする御礼の法要です。
ライブ配信も行います。そちらもどうぞご利用ください。

写経の会

2月11日(土)
午前10時、午後1時 会費:500円也

令和5年より第二日曜の午前午後2回開催に変わります。

写経のご予約は毎月15日より080-7419-1297まで。

坐禅の会

2月25日(土)
午前9時半~10時半
会費:500円也

※感染対策にご協力の上、法要にご参加いただけます。(感染状況に応じて、変更する場合がございます)

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ityou@matsuchiya.jp までメールをお送りください。

山門改築ならびに境内整備

3月より参道入り口の山門の改築にあたり、仮設通路を設置並びに近くにお祀りしているお地藏様の移動をいたします。仮設通路は5月頃までを予定しており、お参りの際、ご不便をおかけすると思いますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

また1月1日より山門改築にあたるご奉納も承っております。詳しくは趣意書をご覧ください。

ご奉納

ご信徒の皆様より正月にお供えするお餅をはじめとするたくさんの供物をご奉納いただきました。華やかな正月を迎えられたのも皆様のおかげでございます。ありがとうございました。



参道入り口にある提灯一對をご奉納賜りました。
松本達郎様



◀ ご報告 ▶

「星祭まつり報告」

12月22日冬至の日、星まつり法要を執行いたしました。朝からあいにくの雨にもかかわらず、多くのご信徒様が法要に参加され翌年の除災招福をお祈りいたしました。



「大根まつり 報告」

1月7日11時より大般若法要を執行し、法要後にはお下がり大根とゆず味噌を持ち帰りいただきました。コロナ禍前の「大根まつり」としての完全復活には少し及びませんが、1000名分準備したゆず味噌も30分程でなくなり以前と変わらぬ活気が戻ってきていた様子でした。来年こそは完全復活を目指したいものです。



「お正月 報告」

新年をつげる0時の開堂の鐘とともに、コロナ禍前を思い出すほどの多くの参拝者が初詣に訪れ、賑わいを見せていた3が日でした。日中には正月特別祈禱を人数制限の上、行いました。

「七五三・お宮参 報告」

ご宝前にて無病息災を祈念し、行者よりお加持を授かりました。皆様の健やかなご成長をお祈り申し上げます。



12/18 木村咲楽さん 12/3 早田礼季さん



12/18 金子初久(5才)さん



～神楽殿（かぐらでん）～

一般的に神楽殿は神社境内に神楽を奏するために建立される建物です。しかし当山は寺院として活動いたしておりますが、境内には威風堂々とした神楽殿が存在感を示しています。本堂を「聖天宮」と称していると同様に、神仏習合の色彩が色濃く残っている当山ならではのしょう。もちろん正月や節分、毎月20日のご縁日等には境内中に神楽が鳴り響き特別な日を祝っています。三が日や7日の大根まつりには舞いも入り、参拝の方々はその見事な演奏、舞い、衣装に目が釘づけになっていました。

また、本年の大根まつり当日には西川流5代目西川箕乃助様の演舞が奉納され、境内の雰囲気をも更に盛り上げておりました。

